

# 令和6年度薬物乱用対策事業計画

## 1. 事業計画総括表

群馬県薬物乱用対策実施要綱及び令和6年度群馬県薬物乱用対策実施要領に基づき、次の計画内容のとおり、(1)各種啓発活動の強化、(2)取締りの強化及び厳正処分、(3)再乱用防止のための措置を薬物乱用対策の3本柱として、薬物乱用対策推進本部関係団体及び関係機関が各種事業を実施する。

計画内容	
(1) 各種啓発活動強化	各種キャンペーン等啓発活動（啓発活動の拡大と充実）
	教育現場における啓発活動（薬物乱用防止教室、生徒指導等）
	各種運動や会議・講習会等の活用（啓発資材配布、広報啓発等）
(2) 取締りの強化及び厳正処分 （乱用者に対する取締りや青少年に対する補導、密売等の取締り、厳正な処分等）	
(3) 再乱用防止のための措置 （保護観察の充実強化、相談窓口体制の充実と一般への周知徹底、薬物依存症患者の支援強化等）	

2 事業計画【参考】（機関・団体別）

機関・団体名	事業（行事）名	実施	対 象 者	対象人員	概 要
		予定日			
前橋地方検察庁	捜査・公判活動 （薬物乱用事犯者及び規制薬物流通事犯者に対する厳正な検察権の行使）	通年	薬物乱用事犯者 規制薬物流通事犯者	300～400名	1 関係機関との連携強化及び捜査手法等に関する情報共有の推進を図り、薬物事犯の取締りを強化  2 厳正な科刑の獲得のため各種法令の適用に努め、犯罪収益等の剥奪を徹底し、同種事犯の再犯防止に努める  3 裁判員裁判で分かりやすい立証方法を配慮することにより、薬物事犯の社会に与える悪影響の理解を得る
前橋保護観察所	薬物再乱用防止プログラム	毎月5回（年60回）	規制薬物等及び指定薬物の所持又は使用等の罪を犯し、プログラムの受講を義務づけられた保護観察対象者	360人	ワークブック等を用いて、依存性薬物の再使用を防ぐために必要な知識や具体的な方法を、個別受講形式又はグループ受講形式で学ばせるとともに、プログラムの一環として簡易薬物検出検査（尿検査又は唾液検査）を行う
	引受人会・家族会	6月28日	薬物事犯により受刑中の引受人及び担当保護司並びに薬物事犯により保護観察中の家族等及び担当保護司	15人	ダルク職員等を講師に招き、引受人等が、依存症についての知識や理解を深め、家族の関わり方等について学ぶことができる場として、引受人会・家族会を開催する
前橋少年鑑別所	啓発活動	通年	在所者	100人	薬物乱用防止の啓発ビデオを視聴したり、関連書籍を読んだりする機会を設けることで、乱用防止のための考えを深める機会を付与する。
	関連ポスター、冊子等の備え付け	通年	在所者の家族を含む来庁者	400人	庁舎入口、面会待合室等に、薬物乱用防止を訴えるポスターを掲示するほか、厚生労働省等関係機関発行の冊子、リーフレット等を備え付けて啓発する。
	研修	未定	当所職員	18人	群馬県こころの健康センターなどの関係機関の職員を講師として、当所職員に対して薬物乱用問題等に関する研修を実施予定
群馬労働局 労働基準部 健康安全課	全国労働衛生週間趣旨説明会	9月1日～30日	県内事業場	約2,000人	有機溶剤等の有害物質の適正な管理と労働者の健康障害防止に係る意識高揚を図る
	全国労働衛生週間本週間	10月1日～7日	県内事業場	約75万人	有機溶剤等の有害物質の適正な管理と労働者の健康障害防止に係る意識高揚を図る

	事業場に対する監督安全衛生指導	通年	県内事業場	約200社	有機溶剤等の有害物質使用事業場に対して、労働安全衛生法に基づく指導を実施する
東京税関 前橋出張所	取締強化月間の協力依頼	5月	前橋地区保税会・通関協議会	約20者	取締強化期間中における水際取締り強化に向けた協力と情報等の提供依頼を実施する
	密輸防止キャンペーン	5月22日	県民	約400人	不正薬物の密輸に関与しないよう注意喚起するためリーフレット等を配布する
	前橋地区保税会・通関協議会定時総会	6月（予定）	前橋地区保税会・通関協議会	約20者	最近の税関行政を巡る状況についての説明及び情報等の提供依頼
	「ホリデーインまえばし」におけるステージ参加	8月（予定）	県民	約300人	薬物乱用防止に向けた啓発活動として東京税関音楽隊による演奏及び麻薬探知犬によるデモンストラーションを実施する
	年末特別警戒期間の協力依頼	12月（予定）	前橋地区保税会・通関協議会	約20者	年末特別警戒期間中における水際取締り強化に向けた協力と情報等の提供依頼を実施する
	日本関税協会東京支部、東京税関前橋地区保税会及び前橋通関協議会 群馬地区講演会	3月（予定）	日本関税協会東京支部、東京税関前橋地区保税会及び前橋通関協議会ほか	約50人	最近の税関行政を巡る状況委についての説明及び情報等の提供依頼
群馬県中学校長会	薬物乱用防止対策「講演会」	適宜	生徒・保護者	約40,000人	啓発にかかわる研修会を学校・PTA・地域の健全育成団体等が共催して専門家を講師として招き、講話やDVD視聴等により学びの機会とする
	薬物乱用防止に係わる授業実践	適宜	生徒	約10,000人	正しい知識と拒否する態度を育成することを目的に、教科や特別活動の年間指導計画の中に「健康な生活」「薬物の害」等を設定して授業を行う
	学校保健委員会での研究発表会	適宜	生徒、保護者、教職員、学校医、学校薬剤師等	約10,000人	生徒、保護者、教職員、学校医、学校薬剤師で組織する会で、正しい知識に関わる研究発表・協議・情報交換を行う
	薬物乱用防止資料（小冊子）による学習会	随時	生徒・保護者等	生徒：約10,000人 保護者：500人	新入生を対象に小冊子を配布し、資料の内容について確認をする等啓発活動を行う
	各郡市町村での月例生徒指導主事会議	毎月1回	各校の生徒指導主事	約500人	心配される問題行動の一つとして薬物乱用について取り上げ、最新の指導方法などについて情報交換をする

	中学校・高等学校生徒指導対策会議	県内47ヶ所 毎年1回	中学校・高等学校の校長、教頭、生徒指導主事、PTA会長等	約1,500人	中学校と高等学校が連携して、生徒指導上の問題について研究協議する内容の1項目として、研究会及び講演会等を実施する	
	学校警察連絡協議会	各都市年数回	警察、児童相談所、市町村の子ども担当窓口、教育委員会、小・中学校長	約800人	警察、教育委員会、福祉関係職員、小・中学校長が集まり、心配される問題行動の一つとしての薬物乱用について、情報交換や指導方法についての協議を行う	
群馬県 高等学校長協会	健全育成教室 (非行防止・薬物乱用防止等)	適宜	高等学校全生徒	約45,000人	県教育委員会及び高等学校長協会生徒指導委員会の協力を得ながら、各学校の実情に合わせて実施する	
群馬県私立小・中・高等学校協会	薬物乱用防止教室・講演会・講話	10月24日	前橋育英高等学校	450人	外部講師による講話(1年生)	
		7月19日	東京農業大学第二高等学校・中等部	1,891人	非行防止教室(全校生徒)	
		12月18日	高崎健康福祉大学高崎高等学校	403人	薬物乱用非行防止教室(1年生)	
		7月	桐生第一高等学校	450人	薬物乱用防止教室(1年生)	
		5月17日	明和県央高等学校	216人	1学年	
		7月16日	樹徳高等学校	988人	薬物乱用防止講演会	
		3月19日	常磐高等学校	474人	薬物乱用防止教室(NPO法人群馬ダルク)	
		11月27日	関東学園大学附属高等学校	460人	薬物乱用防止教室	
		10月	新島学園	660人	薬物乱用防止教室	
		10月4日	樹徳中学校	141人	薬物乱用防止教室(外部講師)	
		6月20日	白根開善学校	38人	エイズ予防講演会	
		未定	桐生大学附属中学校	106人	薬物乱用防止講演会	
		ポスター掲示	4月	関東学園大学附属高等学校	460人	
			通年	高崎商科大学附属高等学校		
6月	共愛学園高校		1,016人			
リーフレットの配布	7月	共愛学園高校	320人	1学年保護者		
	4月	東京農業大学第二高等学校・中等部	528人	1年生及びその保護者		
	3月	高崎健康福祉大学高崎高等学校	460人	新入生保護者		
保健の授業やホームルームの活用	5月14日	白根開善学校	37人	終業式等における薬物乱用防止に関する指導		
	7月24日		38人			
	10月16日		40人			
	12月21日		40人			
	3月4日		34人			
	4月～	高崎商科大学附属高等学校		保健の授業内(高校1年生)		
	10月	関東学園大学附属高等学校	150人	保健の授業内(高校1年生)		
	4月、5月	桐生第一高等学校	480人	保健の授業内(高校1年生)		

		9月	新島学園	500人	保健の授業内（中学3年生、高校1年生）	
(一社)群馬県専修学校各種学校連合会	薬物乱用防止講習会、DVD等の上映	5月～7月	中央情報大学校	205人	DVD上映（1年生）	
		5月31日	中央高等専修学校 前橋校	49人	ビデオ上映、標語入りポケットティッシュ、クリアファイルを配布する（1年生）	
		6～7月	群馬法科ビジネス専門学校	84人	講習会	
		6月中	中央医療歯科専門学校 太田校	25人	DVD上映（学生）	
		7月22日、25日	中央情報経理専門学校	130人	ビデオ上映、ポケットティッシュ、リーフレットを配布する（1年生）	
		6月中	高崎ビューティモード専門学校	140人	ビデオ上映、ポケットティッシュ、クリアファイル配布する（新入生）	
		7月2日	大泉保育福祉専門学校	136人	薬物乱用防止・SNSについての講習会（全学年）	
		未定	中央農業大学校	12人	DVD上映、リーフレット配布	
		ポスターの掲示	通年	東日本調理師専門学校	95人	
				育英メデイカル専門学校	250人	
中央情報大学校	500人					
中央医療歯科専門学校 太田校	83人					
前橋文化服飾専門学校	21人					
中央農業大学校	50人					
群馬調理師専門学校	210人					
専門学校高崎福嗣医療カレッジ	145人					
東日本栄養医薬専門学校	150人					
オリエンテーションの活用	4月	東日本調理師専門学校	70人	パンフレットの配布、説明		
	適宜	東日本調理師専門学校	70人	ホームルーム		
	6月中	中央医療歯科専門学校 太田校	25人	パンフレットの配布、説明		
	6月中	東日本製菓技術専門学校	69人	授業時にリーフレットを配布し説明する		
	4月4日	大泉保育福祉専門学校	66人			
	7月25日	群馬調理師専門学校	171人	終業式に薬物乱用防止リーフレットを配布、内容を解説する		
群馬県私立大学協会	講座・講話等	4～9月	群馬医療福祉大学	61人	道徳教育研究	
		11月下旬	群馬医療福祉大学	156人	防犯講座（警察署員による）	
		6月18日	関東学園大学	30人	刑事政策講義	
		通年	群馬バース大学	1,648人	薬物乱用防止教室（オンライン）	
		通年	群馬バース大学	1,648人	健康教育ガイダンス（オンライン）	
		オリエンテーション等	4月上旬	群馬医療福祉大学	1,183人	薬物乱用防止リーフレットを配布し、内容を解説

		4月	〃（新入生）	308人	
		7月上旬	〃	1,183人	
		4月上旬	上武大学	678人	
		7月29日	〃	67人	
		4月7日	新島学園短期大学	107人	
		4月4日	共愛学園前橋国際大学 同短期大学	324人	
		4月4日	高崎商科大学	300人	
		4月上旬	関東学園大学		
		5月中旬	〃	約500人	
		通年	〃	約500人	
		4月及び9月	東京福祉大学	800人	
		4月	〃（新入生）	200人	
	ポスターの掲示	通年	群馬医療福祉大学 上武大学 新島学園短期大学 高崎商科大学 関東学園大学 共愛学園前橋国際大学 同短期大学 群馬パース大学 東京福祉大学 育英大学 育英短期大学	1,400人 2,031人 251人 1,200人 約500人 1,460人 1,818人 1,000人 1,000人	
	ポータルサイト掲示等	8月2日～9月18日	高崎商科大学	1,100人	ポータルサイトにポスターやリーフレットを掲示し注意を促す
		通年	群馬パース大学	1,818人	
(公財)群馬県医師会	郡市会長会議	月1回	県内14郡市医師会役員	80人	情報共有を行う
(一社)群馬県薬剤師会	理事等拡大会議	7月7日	役員	50人	県役員・支部長等に、支部推進員を中心とした活動を要請する
	関東甲信越静学校保健大会	8月1日	学校教員、学校医、学校薬剤師等	800人	薬物乱用防止に係る研究発表に参加する
	薬と健康の週間	10月17日～23日	県民	10,000人	薬と健康の週間中にイベント会場又は店頭で、啓蒙活動を行う
	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	10月24日～25日	学校医、学校薬剤師、教職員	500人	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育部会に参加する
	全国学校保健・安全研究大会	11月7日～8日	教職員、学校医、薬剤師、歯科医、教育委員会食品、PTA等	1,500人	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育課題に参加する
	会報	年4回発行	会員	1,250人	会報にて会員に啓蒙する
(一社)群馬県医薬品配置協会	「8月1日配置の日」献血活動	7月28日	けやきウォーク前橋	1,000人	買物客に薬物乱用防止啓発ポケットティッシュ配布
	標語入りゴム風船、ポケットティッシュ配布	通年	一般家庭	5,000人	標語入りゴム風船とポケットティッシュを携行して配置販売に従事訪問時に啓発活動をする

	資質向上研修会登録販売者研修会	年2回		研修受講者	90人	啓発リーフレット、ポケットティッシュ配布
群馬県麻薬卸売業者協会	群馬県麻薬卸売業者協会総会	9月		協会員	10人	薬物乱用防止に関する研修会を実施予定
	群馬県麻薬卸売業者協会実務研修会	2月		協会員	9人	
群馬県民生委員児童委員協議会	子ども福祉主任児童委員合同会議	6月27日		民生委員児童委員	72人	啓発用リーフレットの配布
	研修活動委員会広報広聴活動委員会合同会議	7月8日		民生委員児童委員	72人	啓発用リーフレットの配布
	地域福祉自立支援研究協議会合同会議	7月29日		民生委員児童委員	72人	啓発用リーフレットの配布
群馬県保護司会連合会	ティッシュペーパーの作成及び配布	6月～8月 (配布)		県民高校野球県予選球場等	1500人	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュを2,000個作成し、配布する
	ダム。ゼッタイ。普及運動「6.26ヤング街頭キャンペーン」		6月26日	県下12ヶ所保健所主催の街頭キャンペーン	300人	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュを2,000個作成し、配布する
	県更生保護女性会の覚せい剤等薬物乱用防止啓発活動研修会	7年2月 第1ブロック～ 第3ブロック		県内全域の更生保護女性会、保護司会	500人	薬物乱用防止に特化した研修と会員の意見交換、その報告会
群馬県地域婦人団体連合会	啓発資料の配付等	6年度中適宜		県理事及び会員	100人～200人	国や県で作成した啓発資料等を配布
群馬県更生保護女性会	モデル地区活動詳細					
	桐生地区	薬物乱用防止教室 校長会出席	4月26日	桐生市内小中学校校長及び教育委員会	60人	薬物乱用防止教室開催のお願い資料配付
		薬物乱用防止教室の準備 パワーポイント及びアンケートの作成 啓発品の作成	4月～2月	桐生市内小中学校	1000人	参加生徒への資料作りと啓発品作り
		会員研修会	5月28日	会員・更生保護団体・青少年育成関係団体	120人	ここの健康センター講習会
		公開ケース勉強会 (ミニ集会)	7月	会員・保護司・青少愛	160人	DVD鑑賞・意見交換会
		薬物乱用防止教室の実施	7月～2月	市内各小中学校 18校程度	1200人	資料配付・パワーポイントによる説明 DVD鑑賞・アンケート実施 啓発品配布
		薬物乱用防止モニター実施結果発表	3月5日	第一ブロック 会員及び来賓	150人	結果発表 薬物乱用防止教室のデモンstrーション

渋川・北群馬地区	講演	6月7日 6月19日 7月 2月	中学生等 高校生等 中学生等 中学生等	60人 100人 50人 50人	講師を招き講演
	金島ふれあい祭り	8月3日	地元住民	400人	啓発のほり旗設置 ポケットティッシュ、啓発 資材配布
	高齢者向け啓発活動	12月	赤城地区	30人	ポケットティッシュ、啓発 資材配布
	しおり人形作り	通年			
	豊秋地区納涼祭	8月	地元住民	300人	ポケットティッシュ、啓発 資材配布
	古巻地区祭り	8月	地元住民	200人	ポケットティッシュ、啓発 資材配布
藤岡多野地区	ポケットティッシュの配布	6月～12月	市民	5,000人	地域イベントにて配布
	ミニ集会	6月～12月	地区 各支部	400人	各支部において実施
	社明運動期間	7月	中学生等	2,000人	ポケットティッシュ、啓発 資材配布
	会員研修会 講演会	7月下旬	会員等	100人	保健所に講演依頼
	動画の放映	8月	会員等	120人	DVD視聴、勉強会の実施
	更生保護施設訪問、研修	10月	会員、保護司	50人	現状の認識もと啓発意識を 高める
ライオンズクラブ 国際協会333-D地区	薬物乱用防止教室	通年	小学生中学生 高校生	4,500人	薬物乱用防止教室を行う
	薬物乱用防止教育認定講 師養成講座	9月9日	ライオンズク ラブ会員	40人	「薬物乱用防止認定講師」 の資格取得講座を行う
	薬物乱用防止教育認定講 師上級講座	11月頃	薬物乱用防止 教育認定講師 取得者	20人	「薬物乱用防止教室」開催 に向けて実践講座を行う
	啓発グッズの配布	通年	県民	1,800人	薬物乱用防止啓発活動とし てパンフレット、ポケット ティッシュ等を配布する
群馬県青少年育成 推進会議	青少年健全育成運動	7月15日～8月31日 12月15日～1月31日 3月15日～4月30日	県民	多数	青少年健全育成に向けた県 民総ぐるみ運動を実施する なかで、シンナー等薬物乱 用防止気運の醸成について 取り組む
(公財)群馬県防犯 協会	HPに薬物乱用防止を掲 載	通年	県民	約1,000人	薬物乱用のない安全な社会 を実現するための広報を群 馬県防犯協会のHPに掲載 する
	薬物乱用防止活動への支 援	通年	防犯関係者県 民	約1,000部	薬物乱用防止小冊子を、警 察署等を通じ県民に配布す る
	広報誌に薬物乱用防止記 事を掲載	年4回	市町村関係団 体企業	8,000部	広報誌「防犯ぐんま」に薬 物乱用防止について掲載す る
	風俗営業管理者法定講習 で薬物乱用防止を啓発	7月	風俗営業管理 者	約100人	講習カリキュラムで暴力団 排除、薬物乱用防止につい て講習する
	情報発信機能付き自動販 売機を活用した啓発活動	通年	県民	約1,000人	県内97箇所に設置した情報 発信機能付き自動販売機を 活用し薬物乱用防止を広報 する



(公財)群馬県交通安全協会	運転免許更新時講習	通年	講習受講者	87,000人	薬物乱用防止ポスター等を掲示
	行政処分者講習	通年	講習受講者	3,200人	〃
(一財)群馬県母子寡婦福祉協議会	第72回母子家庭・寡婦福祉県民大会	10月20日	市町村母子会、関係機関	100人	啓発用リーフレット配布
	ひとり親家庭の親子体験研修	7月下旬 11月中旬	ひとり親家庭の親子	50人	〃
	その他会議・行事等で配布	随時	役員、ひとり親家庭の親子等	100人	〃
群馬県地域婦人団体連合会	啓発資材資料の配付	随時	県理事及び会員	100～200人	国、県作成の啓発資材資料の配付
メディアプロモーション課	県政広報紙「ぐんま広報」	6月2日	県民	529,500部 (新聞折込、自治体、民間などで配布)	県政広報紙「ぐんま広報」で、薬物乱用防止について啓発
	テレビ・ラジオ広報	6月19日	FM群馬聴取者	約10万人	FM群馬「ぐんま情報トッピング」で、薬物乱用防止について啓発
生活子ども課	群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議(全体会)	7月、2月	国機関、更生保護団体、その他関係団体、庁内関係各課室	34機関	再犯防止に関わる様々な機関のネットワークを構築し、有効な施策展開につなげる
	第74回“社会を明るくする運動”パネル展	6月28日～ 7月2日	県民	多数	パネル展を実施し、県民等県庁来庁者に対して啓発を図る(前橋保護観察所と共催予定)
消費生活課	ティッシュペーパーの配布	通年	高校生、専門学校生、大学生	100人	若者向け消費者被害防止出前講座を活用し、薬物乱用防止のポケットティッシュを配布する
私学・青少年課	群馬県青少年健全育成条例講習会及び各種研修会等における啓発	通年	青少年担当の関係機関団体及び県民	全県民	群馬県青少年健全育成条例を周知する講習会等他機関が開催する研修会等の機会を捉え、薬物乱用防止を呼びかける
	「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の実施	7月	県民	全県民	内閣府が主唱する運動の中で「薬物乱用対策の推進」を重点課題の一つとして取り組む
	青少年健全育成運動(三季運動)の実施	夏 7.15～8.31 冬 12.15～1.31 春 3.15～4.30	県民	全県民	青少年健全育成に向けた県民総ぐるみ運動を実施する中で、大麻等薬物乱用防止気運の醸成について取り組む。
	秋の子どもまんなか月間	11月	県民	全県民	子ども家庭庁が主唱する運動の中で「薬物乱用防止」を重点課題の一つとして取り組む。
	群馬県青少年育成大会事業	通年	県民	約1万人	「少年の日」「家庭の日」推進運動の中で、薬物乱用防止を含めた環境浄化活動を推進する

	「青少年だより」による情報発信活動	随時	県内全小学校、中学校、高等学校、各市町村教育委員会、各市補導センターなど	約1,000人	学校現場を支援するための執務資料「青少年だより」を发出し、違法薬物の危険性等の周知徹底を図る
医務課	看護フェスタ2023	5月25日	県民	200人程度	啓発用ポケットティッシュを配布する
健康長寿社会づくり推進課	若年者からの喫煙防止講習会	通年	小、中、高校生、保護者及び学校保健担当者等	4,500人	講和、DVD鑑賞、パンフレット配布等
	学生のための喫煙防止講習会	通年	県内大学、短期大学・専門学校等の生徒	200人	講習内容「たばこの煙の有毒性について」(外部講師)
	受動喫煙防止対策研修	通年	行政関係者、医療機関、検診期間、事業者、学校関係者、保険組合関係者等	50人	講習内容「受動喫煙防止対策」(仮)
	禁煙支援県民公開講座	通年	県民		動画配信予定
	啓発物品(ポケットティッシュ等)の作成	通年	県民	27,200人	普及啓発に係る啓発グッズの作成
	受動喫煙防止及び禁煙に関する健康動画の配信継続	令和4年3月～	県民		動画の周知
	受動喫煙防止対策啓発動画の配信継続	令和2年5月～	県民		動画の周知
	世界禁煙デー・禁煙週間の普及啓発	5月～6月	県民県職員	約20,000人 約1,500人	ポスター掲示、地域FM放送での告知、上毛新聞への広告掲載
受動喫煙防止対策推進会議	7月頃	委員(学識経験者、医療関係団体、健康保険関係団体、商工労働関係団体、食品・食品衛生関係団体、行政)	委員18名 オブザーバー 4名 事務局 5名	健康増進法に基づく受動喫煙防止対策について、群馬県における対策を協議及び検討し、総合的効率的に推進する	
障害政策課	群馬県依存症等対策事業費補助金	-	群馬ダルク、藤岡ダルク	-	薬物依存症に関する活動を行う自助グループに対して、ミーティング活動や普及啓発活動の実施に要する経費を補助する。 群馬ダルク ・ミーティング活動(4回、参加予定人数:200名) ・情報提供(セミナーの開催。2回、参加予定人数40名) 藤岡ダルク ・普及啓発活動(エイサー公演100回、衣装購入費の補助)

こころの健康センター	群馬県依存症相談拠点	通年	県民、関係団体	—	平成31年度から群馬県の依存症相談拠点に指定されており、相談支援体制の充実、関係機関や民間団体との連携強化、情報提供の充実等を図る
	依存症相談（来所、電話、メール）	○定期相談 第2火曜日、第3火曜日（偶数月）、第4水曜日 ○臨時相談 不定期 ○電話 年末年始祝日を除く平日の9時～17時 ○メール 24時間受付（返信は1～2週間）	一般県民、関係機関職員等	定期相談40ケース 臨時相談10ケース 電話相談300ケース メール相談5ケース	家族や本人、関係機関からの相談を精神科医師や相談員が受け、助言や情報提供を行う
	依存症家族教室	第2火曜日	依存者の家族等	120人	依存症者の家族が本人へ適切な対応ができるよう、学習プログラムを実施する
	ぐんま～ぶ	第1・3金曜日	依存症者	120人	物質使用障害治療プログラム（SMARPP）を一部改編した依存症再発防止プログラムを実施する
	薬物依存症支援者研修会	11月中	市町村、保福、医療機関、司法警察関係、相談支援事業所等	100人	検討中
	VBP	随時	薬物事犯者	10人	同意が得られた保護観察中の薬物事犯者に対し、3年間のコホート調査をおおして、保護観察から地域支援へのつなぎを図る
	出前なんでも講座（依存）	随時	一般県民、関係機関職員等	100人	講座をおおして、依存症の基礎知識や支援方法を学ぶ機会とする
	前橋刑務所への講師派遣	奇数月第2水曜日	一般改善指導「依存症に係るフォローアップ指導」受講者	36人	前橋刑務所において受刑者に対しぐんま～ぶ（依存症再発防止プログラム）を実施し、社会復帰後につながることでできる社会資源について周知する。
	依存症啓発ポスター、リーフレットの作成	—	県民	—	依存症啓発のため、資料を作成する。 ポスター500部 リーフレット7000部
教育委員会高校教育課	公立高等学校等副校長・教頭研究協議会	4月18日 他2回	公立高等学校・中等教育学校、県立特別支援学校の副校長及び教頭	115人	薬物乱用を含む問題行動防止対策等についての指示及び伝達を行う
	第1回公立高等学校等生徒指導対策協議会	4月19日	公立高等学校及び公立中等教育学校、県立特別支援学校の生徒指導主事（担当者）	107人	・薬物乱用を含む問題行動防止対策等についての指示及び伝達を行う ・薬物乱用を含む問題行動防止指導に関する協議を行う

	夏季休業中における生徒指導の徹底	7月	公立高等学校及び中等教育学校の全生徒	約41,000人	・夏季休業に当たり、薬物乱用を含む問題行動の防止対策等について各校への通知を行う ・各学校は、これに基づいて生徒の指導を行う
	第2回公立高等学校等生徒指導対策協議会	9月6日	公立高等学校及び公立中等教育学校、県立特別支援学校の生徒指導主事（担当者）	107人	・薬物乱用を含む問題行動防止対策等について指示及び伝達を行う ・薬物乱用を含む問題行動防止指導に関する協議を行う
	冬季休業中における生徒指導の徹底	12月	公立高等学校及び中等教育学校の全生徒	約41,000人	・冬季休業に当たり、薬物乱用を含む問題行動の防止対策等について各校への通知を行う ・各学校は、これに基づき生徒への指導を行う
	第3回公立高等学校等生徒指導対策協議会	1月17日	公立高等学校及び公立中等教育学校、県立特別支援学校の生徒指導主事（担当者）	107人	・薬物乱用を含む問題行動の防止対策等について、指示及び伝達を行う ・薬物乱用を含む問題行動防止指導に関する協議を行う
教育委員会健康体育課	薬物乱用防止教育及び性・エイズ教育に関する指導者研修会（オンライン開催）	7月3日	国・公・私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員、薬物乱用防止教育指導者、行政及び学校関係職員の薬物乱用防止教育の講師等、並びに企画運営担当者等	約240人	指導していただく方とその企画運営を担当する方に、学校における薬物乱用防止教室の考え方や進め方に関する講習を行う。
群馬県警察本部子供・女性安全対策課	薬物乱用防止教室の開催	通年	県内小学校・中学校・高校等、希望のあった学校	約15,000人	警察職員による講話の実施
	啓発資料の配布	通年	〃	〃	教室において対象の児童・生徒等に配布
	DVDの上映	通年	〃	〃	教室において警察が所有するDVDを上映
	薬物乱用防止広報活動の実施	通年	〃	〃	啓発資料の配布、パネル掲示、薬物乱用防止広報車を使用した広報活動の実施等
群馬県警察本部組織犯罪対策課	覚醒剤等薬物事犯の恒常的な取締り	通年	違反者		乱用者の徹底検挙と薬物密売組織及び密売ルート の解明検挙による供給元の遮断
	薬物乱用防止のための広報啓発	年度中	県民	数千人	県、関係機関、団体との連携による広報啓発活動
6月1日～7月31日		県民	数千人	視覚に訴える電光掲示板付自販機への掲出、薬物乱用防止うちわの配布	

			県民	数千人	広報のしおり(県警広報係作成)、ぐんま広報、エフエム群馬「ワイグル」内コーナー「ぐんま情報トッピング」等における広報啓発メッセージ等配信活動
			SNSフォローワー	数千人	Facebook、Instagram、XなどのSNSを利用した広報啓発情報の発信活動
		年度中	県民来場者	数千人	サッカーのプロチーム(ザスパクサツ群馬)の試合会場において、来場者に対する薬物乱用防止キャンペーン活動の実施。選手起用CM・ポスターを県内で放映・掲示する
		年度中	来日外国人	数千人	外国人共生対策の一環として薬物乱用防止講話の実施
		年度中	県民	数千人	学生、団体等に対する薬乱防止講演の実施
		年度中	県民	数千人	各警察署管内で行われる祭り会場、駅、スーパー等の大型ショッピングモール等で薬物乱用防止啓発活動を実施
前橋市保健所	6.26ヤング街頭キャンペーン	6月26日	通勤、通学者	3,000人程度	前橋駅、新前橋駅において啓発物品の配布
	前橋まつりキャンペーン	10月12日	前橋まつり来場者	3,000人程度	前橋市内中心部において啓発物品の配布
	前橋工科大学学園祭キャンペーン	10月27日	前橋工科大学学園祭来場者	3,000人程度	前橋工科大学内において、啓発物品の配布
高崎市保健所	6.26ヤング街頭キャンペーン	6月23日	高崎駅周辺	約1,500人	のぼり旗等の啓発資材の掲示 ウェットティッシュの配布 国連支援募金活動
	薬物乱用防止教室	7月～2月頃	市内小中学校生徒及び保護者(15校程度)	約1,500人	パワーポイントや啓発用DVD等を用いた講義
	薬物乱用防止キャンペーン(薬物乱用防止IN農業まつり)	11月	農業まつり会場内	約1,000人	のぼり旗等の啓発資材の掲示 ウェットティッシュ、保冷剤の配布
薬務課	覚醒剤等薬物事犯の取締り	随時	違反者		県警察本部や厚生労働省麻薬取締部と連携して薬物乱用者の指導・取締りを行う
	不正大麻・けし撲滅運動	5月～7月	県民	多数	不正栽培と自生の大麻・けしの発見・抜去と広報活動等を行う。リーフレットによる広報を実施する
	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 ①6・26ヤング街頭キャンペーン ②地域団体キャンペーン	2024/6/20～7月19日 ①6月26日前後 ②運動期間中	県民	多数	①薬物乱用防止指導員を主な構成員とする「ダメ。ゼッタイ。」地区推進連絡会議が中心となって、通学途中の高校生等を対象とした駅前キャンペーン等を実施する。 ②薬局・飲食店等にポスターを掲示し、一声運動を実施する。

麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動	10月～11月	県民	多数	麻薬・覚醒剤等の害について知識を普及する
麻薬卸売業者協会研修会・実務研修会	9月、2月	麻薬業務担当者	10社、12社	麻薬等の取扱い・流通管理の適正化について指導する
薬物乱用防止教室等への講師派遣	通年	小・中・高生、県民等	多数	講習会や学校での薬物乱用防止教室等へ講師を派遣する
麻薬取扱施設監視	通年	麻薬取扱者	500施設	麻薬の取扱い・保管管理等の指導と取締りを行う
向精神薬取扱施設監視	通年	向精神薬取扱者	500施設	向精神薬の取扱い・保管管理等の指導と取締りを行う
覚醒剤・覚醒剤原料取扱施設監視	通年	覚醒剤取扱者 覚醒剤原料取扱者	500施設	覚醒剤、覚醒剤原料の取扱い・保管管理等の指導と取締りを行う
薬物乱用防止指導員による活動	通年	地域住民	多数	県・市町村が行う薬物乱用防止施策に協力するとともに、日常活動を通じて、地域住民等に薬物乱用の弊害と実態などについての知識の普及啓発を図る
保健福祉事務所薬物乱用防止対策班による活動	通年	地域住民	多数	保健福祉事務所に設置されている対策班が、様々な啓発活動を実施する
薬物乱用防止啓発用DVDの貸出	通年	県民	多数	薬物乱用防止啓発用DVDを購入し、視聴希望者に貸出する
薬物相談窓口業務	通年	県民	多数	こころの健康センター、保健福祉事務所、中核市保健所、薬務課が地域住民からの薬物相談を受ける。また、相談窓口について県民への周知を図る
薬物乱用防止の広報	通年	県民	多数	関係機関と連携し、ラジオ、テレビ、デジタルサイネージ(電子広告)、新聞、広報誌等への広報活動を実施する
超速戦隊G-FIVEと連携した啓発活動の実施	通年	県民	多数	NPO法人ゲート群馬ネットワークと連携し、ローカルヒーロー「G-FIVE」関連イベントでの広報啓発、キャラクターを活用した資料の作成配布を行う
危険ドラッグ対策	通年	—	—	危険ドラッグを販売するサイト等を監視し、必要時には警察本部と連携した立入調査・指導及び買上調査を行う
若年層への広報啓発	通年	県民	多数	若年層向け薬物乱用防止に関する啓発資料を作成し、効率的に配布することで、若者に向けて薬物の危険性、有害性の周知を行う

大麻等薬物乱用防止啓発資材(リーフレット、ポケットティッシュ)の作成	通年	一般県民(主に青少年)	リーフレット約34,000部ポケットティッシュ約200,000個	大麻等薬物乱用防止啓発資材を独自に作成し、リーフレットは中学3年生へ配布、ポケットティッシュはキャンペーンや薬物乱用防止教室等において配布する
群馬県薬物の濫用の防止に関する条例に基づく知事指定薬物の指定	必要時	—	—	法律で規制されていないものの、規制薬物と同等以上に身体に危険な薬物を「知事指定薬物」として県独自に指定する